

(様式第 9)

鹿大医歯病総第 6 2 9 号
平成 2 4 年 1 0 月 4 日

九州厚生局長 殿

鹿児島大学病院長
熊 本 一 郎

鹿児島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	140人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	194人	246人	397.4人	看護補助者	43人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	103人	47人	146.6人	理学療法士	11人	臨床検査技師	42人
薬 剤 師	37人	6人	43.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	2人	そ の 他	6人
助 産 師	33人	1人	33.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	546人	32人	571.3人	臨床工学技士	12人	医療社会事業従事者	0人
准 看 護 師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	そ の 他 の 技 術 員	19人
歯 科 衛 生 士	9人	5人	14.0人	歯 科 技 工 士	3人	事 務 職 員	157人
管理栄養士	4人	3人	7.0人	診療放射線技師	36人	そ の 他 の 職 員	43人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯 科 等 以 外	歯 科 等	合 計
1日当たり平均入院患者数	510. 1人	27. 4人	537. 5人
1日当たり平均外来患者数	837. 0人	419. 1人	1256. 1人
1日当たり平均調剤数	978. 2剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	6人
(他の保険医療機関に対して検体の採取以外の業務を委託して実施する保険医療機関) 先天性難聴の遺伝子診断	4人
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	19人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	8人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
パクリタキセル腹腔内投与及び静脈内投与並びにS-1内服併用療法 腹腔播種又は進行性胃がん(腹水細胞診又は腹腔洗浄細胞診により遊離がん細胞を認めるものに限る。)	0人
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
該当なし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	69人	・膿疱性乾癬	15人
・多発性硬化症	40人	・広範脊柱管狭窄症	16人
・重症筋無力症	86人	・原発性胆汁性肝硬変	14人
・全身性エリテマトーデス	245人	・重症急性膵炎	4人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	54人
・再生不良性貧血	43人	・混合性結合組織病	34人
・サルコイドーシス	83人	・原発性免疫不全症候群	10人
・筋萎縮性側索硬化症	16人	・特発性間質性肺炎	19人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	170人	・網膜色素変性症	50人
・特発性血小板減少性紫斑病	50人	・プリオン病	5人
・結節性動脈周囲炎	33人	・肺動脈性肺高血圧症	13人
・潰瘍性大腸炎	41人	・神経線維腫症	42人
・大動脈炎症候群	20人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	13人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	5人
・天疱瘡	7人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4人
・脊髄小脳変性症	48人	・ライソゾーム病	12人
・クローン病	34人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	7人	・脊髄性筋委縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	38人	・球脊髄性筋委縮症	2人
・アミロイドーシス	7人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	12人
・後縦靭帯骨化症	57人	・肥大型心筋症	5人
・ハンチントン病	0人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	25人	・ミトコンドリア病	13人
・ウェゲナー肉芽腫症	12人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	39人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	14人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	153人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 該当なし	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	199回
部 検 の 状 況	部検症例数 27例 / 部検率 19.0%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	枕崎市における心血管病の疫学的研究	鄭 忠和	心臓血管内科	2,100,000	補委 枕崎市立病院
2	和温療法の内科疾患に対する多面的有効性の研究	鄭 忠和	心臓血管内科	525,000	補委 枕崎市立病院
3	葉酸レセプターβ (FRβ) 発現マクロファージを標的とした新規動脈硬化治療法の研究	鄭 忠和	心臓血管内科	1,000,000	補委 垂水中央病院
4	和温療法による慢性心不全患者の自律神経機能改善効果	鄭 忠和	心臓血管内科	1,000,000	補委 日置市長
5	和温療法における抗酸化作用、アポトーシスに対する効果	鄭 忠和	心臓血管内科	2,000,000	補委 垂水中央病院
6	心不全における高感度トロポニンT測定の臨床的意義	鄭 忠和	心臓血管内科	2,000,000	補委 えびの市長
7	難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	坪内 博仁	消化器内科	60,000,000	補委 厚生労働省
8	難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	(分担) 坪内 博仁	消化器内科	1,000,000	補委 厚生労働省
9	IgG4関連全身硬化性疾患の診断法の確立と治療方法の開発に関する研究	(分担) 坪内 博仁	消化器内科	700,000	補委 厚生労働省
10	ウイルス性肝炎からの発がん及び肝がん再発の抑制に関する研究	(分担) 坪内 博仁	消化器内科	1,500,000	補委 厚生労働省
11	シュガーチップと糖鎖固定化金ナノ粒子を用いたウイルス性疾患の超早期検査・診断法の開発	(分担) 井戸 章雄	消化器内科	850,000	補委 厚生労働省
12	免疫抑制薬、抗悪性腫瘍薬によるB型肝炎ウイルス再活性化の実態解明と対策法の確立	(分担) 井戸 章雄	消化器内科	500,000	補委 厚生労働省
13	ウイルス性肝炎における最新の治療方法の標準化を目指す研究	(分担) 桶谷 眞	消化器内科	2,500,000	補委 厚生労働省
14	ウイルス性肝疾患に対する分子標的治療創薬に関する研究	(分担) 宇都 浩文	消化器内科	2,000,000	補委 厚生労働省
15	B型慢性肝炎に対する新規逆転写酵素阻害剤テノホビルの有効性・安全性に関する検討	(分担) 宇都 浩文	消化器内科	1,000,000	補委 厚生労働省
16	わが国における飲酒の実態把握およびアルコールに関連する生活習慣病とその対策に関する総合的研究	(分担) 宇都 浩文	消化器内科	800,000	補委 厚生労働省
17	プロテオミクスを用いた難治性消化器疾患の病態解明と新規診断・治療法の確立	坪内 博仁	消化器内科	18,100,000	補委 日本学術振興会
18	遺伝子改変動物を用いた炎症性肝発癌におけるオステオアクチビンの役割の解析	井戸 章雄	消化器内科	1,000,000	補委 日本学術振興会
19	非アルコール性脂肪性肝疾患におけるキナーゼ断片ペプチドを介した高血圧の関与	宇都 浩文	消化器内科	1,900,000	補委 日本学術振興会
20	前臨床ミニブタ同種腎移植モデルを用いたHGFによる免疫寛容誘導および機序の解明	屋 万栄	消化器内科	1,100,000	補委 日本学術振興会
21	脂肪肝の新しい診断と治療法の開発	坪内 博仁	消化器内科	1,000,000	補委 国立大学法人宮崎大学

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
45	神経変性疾患に関する調査研究	(分担) 佐野 輝	神経科精神科	2,000,000	補委 厚生労働省
46	有棘赤血球舞踏病における神経変性の分子的機構に関する研究	佐野 輝	神経科精神科	1,000,000	補委 公益財団法人 先進医薬研究振興財団
47	整容性を考慮した乳房温存時における遊離真皮脂肪片移植の生着機序の解明と臨床応用	喜島 祐子	第一外科	700,000	補委 日本学術振興会
48	高精度の分子遺伝学的評価による食道癌治療成績向上のための包括的研究	(分担) 夏越 祥次	第一外科	1,000,000	補委 日本学術振興会
49	生検標本を用いた食道扁平上皮癌のリンパ節転移予測に関する研究	内門 泰斗	第一外科	700,000	補委 日本学術振興会
50	微小癌細胞のNOGマウスによる生着モデルと抗癌剤感受性試験への手技の確立	上之園 芳一	第一外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
51	消化器癌のリンパ管新生に関連する微小環境の分子生物学的解析	松本 正隆	第一外科	1,200,000	補委 日本学術振興会
52	消化器癌の癌免疫機構における免疫補助刺激分子の臨床的意義と新たな臨床応用への展開	有上 貴明	第一外科	800,000	補委 日本学術振興会
53	消化器癌の悪性化機序を促進する炎症性因子の同定と制御に関する基礎的・臨床的研究	上野 真一	第一外科	1,200,000	補委 日本学術振興会
54	口腔内アプローチによる新しい内視鏡下甲状腺切除に関する研究	中条 哲浩	第一外科	1,700,000	補委 日本学術振興会
55	幹細胞ニッチからの食道扁平上皮癌リンパ節転移機構の解明と治療	喜多 芳昭	第一外科	1,900,000	補委 日本学術振興会
56	下垂体腺腫における腫瘍幹細胞の実態とその機能および分化に関する研究	有田 和徳	脳神経外科	900,000	補委 日本学術振興会
57	Wnt/Frizzled系主要メッセージ経路探索による新しい抗グリオーマ戦略	平野 宏文	脳神経外科	2,200,000	補委 日本学術振興会
58	悪性神経膠腫におけるMGMTの関与しないテモノロミド耐性機構の解明	八代 一孝	脳神経外科	1,000,000	補委 日本学術振興会
59	脳卒中におけるCNPの病態生理学的意義の解明	永山 哲也	脳神経外科	2,500,000	補委 日本学術振興会
60	Web会議、ITカルテシステムを用いた脳神経外科診療・教育ネットワークの形成	菅田 真生	脳神経外科	2,300,000	補委 日本学術振興会
61	間脳下垂体機能障害に関する調査研究	(分担) 有田 和徳	脳神経外科	2,300,000	補委 厚生労働省
62	難治性内分泌腫瘍の診断と治療に関する研究	(分担) 有田 和徳	脳神経外科	1,500,000	補委 厚生労働省
63	GOLPH3関連遺伝子制御による骨軟部腫瘍治療研究	小宮 節郎	整形外科	1,200,000	補委 日本学術振興会
64	変形性関節症新規動物モデルの提示と治療法開発への基礎研究	井尻 幸成	整形外科	7,500,000	補委 日本学術振興会
65	Smoothenedの機能とシグナルクロストーク解明による骨肉腫分子標的治療開発	山元 拓哉	整形外科	600,000	補委 日本学術振興会
66	超音波バブルリポソームを用いた新規抗癌剤デリバリーシステムによる肉腫標的治療	横内 雅博	整形外科	800,000	補委 日本学術振興会
67	骨軟部肉腫幹細胞をターゲットとした分子標的治療法開発研究	瀬戸口 啓夫	整形外科	700,000	補委 日本学術振興会

小計 23

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
90	スギ花粉症初期療法が鼻粘膜ヒスタミンH1受容体発現に及ぼす効果と機序に関する研究	牧瀬 高穂	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,500,000	補委 日本学術振興会
91	プロポフォールによるアディポネクチン分泌低下の機序とインスリン抵抗性への関与	上村 裕一	麻酔科	1,400,000	補委 日本学術振興会
92	慢性神経因性疼痛におけるPPARgammaシグナルの役割	長谷川 麻衣子	麻酔科	900,000	補委 日本学術振興会
93	小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成	(分担) 松藤 凡	小児外科	600,000	補委 厚生労働省
94	サツマイモ焼酎関連素材の機能性の科学的証明	乾 明夫	心身医療科	2,000,000	補委 日本学術振興会
95	適正体重維持とストレス応答-脳腸相関、脳脂相関、脂腸相関、三軸からのアプローチ	浅川 明弘	心身医療科	650,000	補委 日本学術振興会
96	がん治療の副作用軽減ならびにがん患者のQOL向上のための漢方薬の臨床応用とその作用機構の解明	乾 明夫	心身医療科	2,000,000	補委 厚生労働省
97	新たな促進法と機能的振動刺激法を用いた革新的片麻痺歩行訓練法の確立と効果の検討	川平 和美	リハビリテーション科	900,000	補委 日本学術振興会
98	新しい多種感覚誘導性注意改善システムの開発と臨床応用	下堂 蘭 恵	リハビリテーション科	800,000	補委 日本学術振興会
99	ゴーグル型視覚刺激装置を用いた半側空間失認へのリハビリテーションとその効果	緒方 敦子	リハビリテーション科	1,400,000	補委 日本学術振興会
100	嚥下障害に対する高電圧パルス電流を用いた電気刺激療法の効果	松元 秀次	リハビリテーション科	1,500,000	補委 日本学術振興会
101	口腔前癌病変における解糖系代謝活性とその意義	宮脇 昭彦	口腔顎顔面外科	500,000	補委 日本学術振興会
102	舌運動圧を用いた構音時舌運動解析の試みと口蓋裂異常構音識別への応用	平原 成浩	口腔顎顔面外科	300,000	補委 日本学術振興会
103	歯原性上皮細胞の感染防御メカニズム解明に関する研究	石畑 清秀	口腔顎顔面外科	500,000	補委 日本学術振興会
104	口蓋裂術後の口蓋化構音病態解明に関する空気力学的研究	緒方 祐子	口腔顎顔面外科	500,000	補委 日本学術振興会
105	Notchシグナルを標的とした新規口腔扁平上皮癌治療に関する研究	比地岡 浩志	口腔顎顔面外科	800,000	補委 日本学術振興会
106	高齢者における誤嚥および窒息に関する潜在的危険要因の分析	中村 康典	口腔顎顔面外科	3,300,000	補委 日本学術振興会
107	骨成長因子・骨補填材を用いた骨造成術における三次元的・病理組織学的検討	西原 一秀	口腔顎顔面外科	1,300,000	補委 日本学術振興会
108	エナメル上皮腫による骨破壊・浸潤に関わる細胞間シグナルの解明と治療戦略への展開	中村 典史	口腔顎顔面外科	2,200,000	補委 日本学術振興会
109	口腔扁平上皮癌の低酸素環境におけるEMTの解明と治療標的としての意義	石田 喬之	口腔顎顔面外科	2,600,000	補委 日本学術振興会
110	音声視覚化システムを用いた音声解析と言語療法応用への試み	新中須 真奈	口腔顎顔面外科	2,600,000	補委 日本学術振興会

小計 21

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
134	超熱伝導グラファイトファイラーによる義歯床用レジンのコンプोजット化	村原 貞昭	冠・ブリッジ科	1,200,000	補委 日本学術振興会
135	金属修復物直下のデュアルキュアレジンセメントの機械的性質に及ぼす光照射の影響	塩向 大作	冠・ブリッジ科	2,500,000	補委 日本学術振興会
136	無歯顎者の義歯装着による嚥下時の呼吸パターンの時間的検討	加地 彰人	義歯補綴科	2,200,000	補委 日本学術振興会
137	骨芽細胞分の分化およびメカニカルストレス応答性におけるAMPKの役割	葛西 貴行	義歯補綴科	2,000,000	補委 日本学術振興会
138	イメージ連成バイオメカニクスを応用したインプラント治療における力学的安全性の保証	丸山 浩美	義歯補綴科	2,500,000	補委 日本学術振興会
139	無歯顎者におけるむせと嚥下時呼吸の関連に着目した視覚化システム開発と訓練への応用	田中 帝臣	義歯補綴科	1,300,000	補委 日本学術振興会
140	気管チューブの位置決定における呼吸音変化の信頼性に関する研究	椛山 加綱	歯科麻酔科	700,000	補委 日本学術振興会
141	バイオリサイクルを考慮した過剰歯由来iPS細胞の樹立効率の検討	齊藤 陽子	歯科麻酔科	2,000,000	補委 日本学術振興会
142	筋力増強・廃用性筋力低下における筋代謝マーカーの分子生物学的検討と臨床応用	池田 聡	リハビリテーション部	3,400,000	補委 日本学術振興会
143	温度受容体の神経因性膀胱治療への応用に向けた基礎的研究	吉田 輝	リハビリテーション部	1,200,000	補委 日本学術振興会
144	医薬品副作用シグナル検知システムへのテキストマイニング技術の応用に関する研究	村永 文学	医療情報部	600,000	補委 日本学術振興会
145	指示のシステム化による医療安全と診療記録の質保証のための問題解決的アプローチ	宇都 由美子	医療情報部	1,200,000	補委 日本学術振興会
146	アルツハイマー病治療戦略へ向けた新たな試み-AICDの転写制御機構の解明	武田 泰生	薬剤部	1,800,000	補委 日本学術振興会
147	がん分子標的治療薬エルロチニブの耐性機構解明と耐性克服薬剤の開発	池田 龍二	薬剤部	1,200,000	補委 日本学術振興会
148	腎移植患者のバルガンシクロビル投与方法の確立に関する研究	藤崎 裕子	薬剤部	500,000	補委 日本学術振興会
149	客観的指標に基づくアセトアミノフェンの至適投与量の設計と適正使用に関する研究	牛山 美奈	薬剤部	600,000	補委 日本学術振興会
150	バンコマイシン低感受性黄色ブドウ球菌の遺伝子変異部位の同定および迅速診断法の開発	金澤 直子	薬剤部	600,000	補委 日本学術振興会
151	FOXL2の遺伝子多型とトラニラストの効果に関する検討	田實 裕介	薬剤部	600,000	補委 日本学術振興会
152	B細胞特異的VEGF過剰発現マウスの解析から帰納される神経免疫システムの発生構築	橋口 照人	検査部	4,500,000	補委 日本学術振興会
153	核内DNA結合蛋白HMGB1による炎症の時空的拡がり	大山 陽子	検査部	1,700,000	補委 日本学術振興会
154	近赤外時間分解分光システムを用いた周術期脳障害モニタリング法の開発	垣花 泰之	集中治療部	2,200,000	補委 日本学術振興会
155	腹部急性疾患に対する時間分解分光システムを用いた新たな測定法の開発	垣花 泰之	集中治療部	1,700,000	補委 日本学術振興会

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	J Cardiol . 2011 May ; 57: 231-238	Effect of coronary endothelial function on outcomes in patients undergoing percutaneous coronary intervention.	Hamasaki S	心臓血管内科
2	J Atheroscler Thromb. 2011; 18(3): 209-216	Loss of Clusterin Limits Atherosclerosis in Apolipoprotein E-deficient Mice via Reduced Expression of Egr-1 and TNF- α .	Hamada N	心臓血管内科
3	Circ J. 2011; 75(3) : 698-702	Acute and Chronic Effects of Smoking on Arterial Stiffness.	Kubozono T	心臓血管内科
4	J Cardiol. 2011; 57(1) : 100-106	Improvement of autonomic nervous activity by Waon therapy in patients with chronic heart failure.	Kuwahata S	心臓血管内科
5	Circ J. 2011; 75(2) : 348-356	Effect of Waon Therapy on Oxidative Stress in Chronic Heart Failure.	Fujita S	心臓血管内科
6	J Cardiol . 2011; 57(1) : 345-353	Identification of novel mutations in the α -galactosidase A gene in patients with Fabry disease: Pitfalls of mutation analyses in patients with low α -galactosidase A activity.	Yoshimitsu M	心臓血管内科
7	Mol Biol Rep. 2011 Jun; 38(5): 3145-3152	Sequencing and characterization of the porcine α -galactosidase A gene: towards the generation of a porcine model for Fabry disease.	Yoshimitsu M	心臓血管内科
8	Mayo Clinic Proc. 2011 Dec; 86(12) : 1165-1172	The Association Between Renal Atherosclerotic Plaque Characteristics and Renal Function Before and After Renal Artery Intervention.	Takumi T	心臓血管内科
9	J Cardiol. 2011 Nov; 58(3): 278-286	Relationship between clinical outcomes and unintentional pulmonary vein isolation during substrate ablation of atrial fibrillation guided solely by complex fractionated atrial electrogram mapping.	Iriki Y	心臓血管内科
10	J Am Soc Echocardiogr. 2011 Jul; 24(7): 768-774	Different Flow Patterns Between Left and Right Internal Thoracic Artery Grafts Influence the Evaluation of Severe Graft Stenosis by Transthoracic Doppler Echocardiography.	Mizukami N	心臓血管内科
11	日本内科学会雑誌. 2011Apr ; 100(4): 1067-1075	The cutting-edge of medicine; waon therapy for cardiovascular disease.	窪菌 琢郎	心臓血管内科
12	J Gastroenterol . 2011 Jun ; 46(6) : 769-778	Impact of cigarette smoking on onset of nonalcoholic fatty liver disease over a 10-year period.	Hamabe A	消化器内科
13	Int J Mol Med. 2011 Apr ; 27(4) : 497-502	Hepatocyte growth factor improves the survival of rats with pulmonary arterial hypertension via the amelioration of pulmonary hemodynamics.	Hiramane K	消化器内科
14	Biochem Biophys Res Commun. 2011 Apr ; 407(1) : 163-168	Liver regeneration after partial hepatectomy in rat is more impaired in a steatotic liver induced by dietary fructose compared to dietary fat.	Tanoue S	消化器内科
15	日本臨床 69: 520-525 (2011.05)	B型肝炎 特殊な病態におけるB型肝炎に対する対応 抗悪性腫瘍薬, 免疫抑制薬によるHBV再活性化とその対応	桶谷 眞	消化器内科
16	J Cardiol Jpn Ed. 2011 Jun ; 6(2) : 157-162	ANCA陽性での多数の感染性動脈瘤を合併した感染性心内膜炎の1例	東福 勝徳	消化器内科
17	Liver Cancer Journal. 2011 Jul ; 3(2) : 160-161	進行肝細胞癌に対するSorafenibの初期使用経験 一鹿児島肝細胞がん分子標的治療研究会における多施設共同調査研究一	最勝寺 昌子	消化器内科
18	診断と治療 99(9) : 1469-1476 (2011.09)	生活習慣病・全身疾患としてのNAFLDの位置づけ, 自然史, QOL	宇都 浩文	消化器内科

小計 18

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
39	SURGERY TODAY. 2011 Mar ; 41 (3) : 390-395	Oncoplastic surgery combining partial mastectomy with breast reconstruction using a free nipple-areola graft for ductal carcinoma in situ in a ptotic breast: report of a case.	Kijima Y	第一外科
40	SURGERY TODAY. 2011 Apr ; 41 (4) : 477-489	Immediate breast reconstruction using autologous free dermal fat grafts provides better cosmetic results for patients with upper inner cancerous lesions.	Kijima Y	第一外科
41	Journal of US-China Medical Science. 2011Mar ; 8(3): 133-137	Oncoplastic Surgery for Japanese Patients with Centrally Located Breast Cancer: Partial Resection and Reconstruction Using a Local Skin-Glandular Flap.	Kijima Y	第一外科
42	The Breast. 2011 Oct; 20(5): 464-467	Immediate reconstruction using a modified thoracodorsal adipofascial cutaneous flap after partial mastectomy.	Kijima Y	第一外科
43	Surg Lapparosc Endosc Percutan Tech. 2011 Dec ; 21 (6) : e301-305	Advanced staging laparoscopy using single-incision approach for unresectable pancreatic cancer.	Maemura K	第一外科
44	Brain Research Bulletin. 2011 Nov ; 86 (5-6) : 334-339	Modulation of abnormal synaptic transmission in hippocampal CA3 neurons of spontaneously epileptic rats (SER) by levetiracetam.	Hanaya R	脳神経外科
45	Minimally Invasive Neurosurgery. 2011 Apr ; 54(2) : 98-99	Paraumbilical peritoneal incision using the little finger in shunt operations for hydrocephalus: Technical note.	Yamahata H	脳神経外科
46	Brain Research Bulletin. 2011 Aug ; 86 (1-2) : 36-41	Neuroprotective effect of levetiracetam on hippocampal sclerosis-like change in spontaneously epileptic rats.	Sugata S	脳神経外科
47	Journal of Neuro-oncology. 2011 Sep ; 104 (3) : 697-704	Role of sonic hedgehog signaling in migration of cell lines established from CD133-positive malignant glioma cells.	Uchida H	脳神経外科
48	Journal of Clinical Neuroscience. 2011 May ; 19(5) : 681-686	MRI findings in patients with central neurocytomas with special reference to a differential diagnosis of other ventricular tumours near the foramen of Monro.	Niuro T	脳神経外科
49	Endocrine Journal. 2011 ; 58(12) : 1087-1091	Gradual declination of IGF-1 over a year after transsphenoidal adenomectomy of GH producing pituitary adenomas.	Fujio S	脳神経外科
50	脳卒中の外科 39(5) : 329-333 (2011. 09)	頸動脈ステント留置術後の長期予後	菅田 真生	脳神経外科
51	内分泌・糖尿病・代謝内科 33(3) : 214-221 (2011. 09)	外科手術 先端巨大症診療のUp-to-date	藤尾 信吾	脳神経外科
52	成人病と生活習慣病 41(6) : 712-715 (2011.06)	下垂体の腫瘍マーカー	藤尾 信吾	脳神経外科
53	日本臨床 69 : 181-186 (2011. 03)	間脳・下垂体腫瘍 間脳・下垂体腫瘍の治療 外科的治療 経蝶形骨洞手術	藤尾 信吾	脳神経外科
54	Brain Tumor Pathology. 2011 Oct ; 28 (4) : 353-358	Diffuse large B-cell lymphoma within a cavernous hemangioma of the cavernous sinus.	Hirano H	脳神経外科
55	Journal of Cranio-Maxillofacial Surgery. 2011 Dec ; 39 (8) : 624-627	Delayed tentorial herniation after cranioplasty with polymethylmethacrylate: a rare complication.	Yamahata H	脳神経外科
56	Skull Base Reports. 2011; 1(1) : 59-64	Subfrontal schwannoma mimicking neuroblastoma: Case report.	Yamahata H	脳神経外科
57	Minimally Invasive Neurosurgery. 2011 Apr ; 54 (2) : 79-82	Microvascular decompression for trigeminal neuralgia due to compression by the vertebral artery: Report of 3 cases.	Yamahata H	脳神経外科

小計 19

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
78	International Journal of Cancer. 2011 Feb ; 128(3) : 541-550	Secreted frizzled-related protein-5 is epigenetically downregulated and functions as a tumor suppressor in kidney cancer.	Kawakami K	泌尿器科
79	International Journal of Oncology. 2011 Jul ; 39(1) : 13-21	miR-218 on the genomic loss region of chromosome 4p15.31 functions as a tumor suppressor in bladder cancer.	Tatarano S	泌尿器科
80	British Journal of Cancer 2011 Mar ; 104(5) : 808-818	The tumour-suppressive function of miR-1 and miR-133a targeting TAGLN2 in bladder cancer.	Yoshino H	泌尿器科
81	Journal of Pediatric Urology. 2011 Aug ; 7(4) : 433-437	Clinical experience of the VQZ plasty for catheterizable urinary stomas.	Itesako T	泌尿器科
82	The journal of urology. 2011 Jun ; 185(6) : 2440-2443	Acquired Undescended Testes in Boys With Hypospadias.	Itesako T	泌尿器科
83	International Journal of Urology. 2011 Jul ; 18(7): 533-535	Unusual presentation of intraparenchymal renal artery aneurysm mimicking cystic renal cell carcinoma: A case report.	Osako Y	泌尿器科
84	西日本泌尿器科 ; 73(9) : 493-496(2011.09)	外傷性精巣脱出症の1例	坂口 大	泌尿器科
85	腎移植・血管外科 ; 23(1): 70-74 (2011.12)	症例報告 BMI 33のドナーから BMI 32のレシピエントへ腎移植の経験	上村 康介	泌尿器科
86	腎移植・血管外科 ; 23(1) : 34-38(2011.12)	症例報告 リンパ嚢腫に対する腹腔鏡下腹膜開窓術の1例～ Ligaclip® による再発予防のテクニック～	山田 保俊	泌尿器科
87	西日本泌尿器科 ; 73(10) : 523-529(2011.10)	尿中 microRNA 検出による尿路上皮癌の診断	榎田 英樹	泌尿器科
88	西日本泌尿器科 ; 73(2): 70-74(2011.02)	TIN 療法を施行した難治性精巣腫瘍の1例	米森 雅也	泌尿器科
89	Br J Ophthalmol. 2011 Mar; 95(3): 419-423	Ocular surface molecule after transconjunctival vitrectomy.	Fujita A	眼科
90	Retina. 2011 Apr; 31(4): 748-754	Visual outcome after intravitreal triamcinolone acetate depends on optical coherence tomographic patterns in patients with diffuse diabetic macular edema.	Shimura M	眼科
91	日本眼科学会雑誌115巻7号 : 611-616 (2011.07)	メトレキサート硝子体内投与により網膜に有害事象がみられた眼内悪性リンパ腫の1例	黒岩 宣宏	眼科
92	日本眼科学会雑誌115巻6号 : 523-528 (2011.06)	トリアムシロンによる無菌性眼内炎調査	坂本 泰二	眼科
93	Lab Invest. 2011 Sep ; 91(9): 1277-1290	NSAIDs inhibit neovascularization of choroid through HO-1-dependent pathway.	Yoshinaga N	眼科
94	Jpn J Ophthalmol. 2011 Jul ; 55(4): 362-364	Atypical presentation of acute macular neuroretinopathy with tiny parafoveal reddish-brown lesions.	Matsuo Y	眼科
95	Retina. 2011 Nov ; 31(10): 1997-2001	Incidence of iatrogenic peripheral retinal breaks in 23-gauge vitrectomy for macular diseases.	Nakano T	眼科
96	日本眼科学会雑誌 115巻10号 : 924-929 (2011.10)	急速に失明に至り、特異な対光反射を示した悪性腫瘍随伴網膜症	尾辻 太	眼科
97	Retina. 2012 Apr ; 32(4): 767-772	Early diagnosis of macular hole closure of gas-filled eye by Watzke-Allen slit beam test and spectral-domain OCT.	Yamakiri K	眼科
98	臨床眼科66巻2号 : 185-189 (2012.2)	開放性眼外傷の予後予測因子の検討	藤原 悠子	眼科
99	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2012 Mar ; 53(3) : 1102-1107	Repeatability and reproducibility of subfoveal choroidal thickness in normal eyes of Japanese using different SD-OCT devices.	Yamashita T	眼科
100	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2012 Jan ; 250(1): 71-78	Comparative study of vitrectomy versus intravitreal triamcinolone for diabetic macular edema on randomized paired-eyes.	Doi N	眼科

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
122	Journal of Pediatric Surgery. 2012 Apr ; 47(4): e1-4	Congenital infantile fibrosarcoma in a very low-birth-weight infant.	Mukai M	小児外科
123	J Gastroenterol Hepatol. 2011 Apr ; 26 Suppl 3 : 73-74	Ghrelin family of peptides and gut motility.	Asakawa A	心身医療科
124	Mol Genet Metab. 2011Mar ; 102(3) : 349-355	Induction of PDK4 in the heart muscle of JVS mice, an animal model of systemic carnitine deficiency, does not appear to reduce glucose utilization by the heart.	Ushikai M	心身医療科
125	Endocrine. 2011 Apr ; 39(2) : 113-117	Centrally administered urocortin 3 inhibits food intake and gastric emptying in mice.	Ushikai M	心身医療科
126	Complementary Therapies in Clinical Practice. 2011 Aug ; 17 (3) : 162-166	Effects of thermal therapy combining sauna therapy and underwater exercise in patients with fibromyalgia.	Matsumoto S	リハビリテーション科
127	Disability and Rehabilitation. 2011 ; 33 (23-24) : 2322-2328	Effects of 5 minutes of neck-muscle vibration immediately before occupational therapy on unilateral spatial neglect.	Kamada K	リハビリテーション科
128	日本温泉気候物理医学会雑誌 75 (1) : 5-8 (2011.11)	温泉・温熱、振動刺激のリハビリテーション医療への応用拡大; 新たなリハビリ治療法の確立とエビデンス蓄積	川平 和美	リハビリテーション科
129	日本温泉気候物理医学会雑誌 74 (4) : 227-238 (2011.08)	無機塩含有人工炭酸ガス泉入浴が身体の柔軟性と筋硬度、自覚症に及ぼす影響について	下堂 蘭 恵	リハビリテーション科
130	J Oral Maxillofac Surg. 2011 Feb ; 69(2) : 322-332	3-dimensional analyses of outcomes following secondary treatment of unilateral cleft lip nose deformity.	Okawachi T	口腔顎顔面外科
131	J Craniomaxillofac Surg. 2011 Jul ; 39(5) : 305-312	Secondary correction of bilateral cleft lip nose deformity - clinical and three-dimensional observations on pre- and postoperative outcomes.	Nakamura N	口腔顎顔面外科
132	J Oral Maxillofac Surg. 2011 Nov ; 69(11) : e469-481	Three dimensional analyses of nasal forms after secondary treatment of bilateral cleft lip-nose deformity in comparison to those of young adults.	Nakamura N	口腔顎顔面外科
133	FEMS Microbiol Lett. 2011 Jul ; 320(1) : 33-39	Bacitracin sensing and resistance in Staphylococcus aureus.	Yoshida Y	口腔顎顔面外科
134	Oral Science International 8 .2011 May : 20-28	Immortalization and characterization of normal oral epithelial cells without using HPV and SV40 genes.	Kibe T	口腔顎顔面外科
135	日本口腔科学会誌 60(4) : 317-324 (2011.09)	オトガイ神経知覚異常回避のための下顎智歯2回法抜歯の臨床的検討	野添 悦郎	口腔顎顔面外科
136	日本外科系連合会誌 36(5) : 758-763 (2011. 10)	舌可動部亜全摘・大胸筋皮弁再建症例の早期嚥下機能評価	松永 和秀	口腔顎顔面外科
137	日本口腔外科学会誌 57(12) : 650-657 (2011.12)	口腔外科手術周術期におけるエンドトキシン活性値の検討	石畑 清秀	口腔顎顔面外科
138	日本口腔外科学会誌 57(5) : 314-318 (2011. 05)	間葉成分に富んだ下顎エナメル上皮線維腫の1例	柳橋 恵子	口腔顎顔面外科
139	Hospital Dentistry & Oral Maxillofacial Surgery 23(1): 37-41 (2011.06)	先天性正中上唇瘻の1例	新中須 真奈	口腔顎顔面外科
140	Journal of Craniomandibular Practice. 2011 Apr ; 29(2) : 100-110	Condylar shape in relation to anterior disk displacement in juvenile females.	Hasegawa H	小児歯科
141	Journal of Craniomandibular Practice. 2012 Jan ; 30(1) : 41-51	Comparison of normal permanent and primary dentition sagittal tooth-crown inclinations of Japanese females.	Inada E	小児歯科
142	American Journal of Orthodontics & Dentofacial Orthopedics. 2012 Mar ; 141(3) : 269-278	Improvement of nasal airway ventilation after rapid maxillary expansion evaluated with computational fluid dynamics.	Iwasaki T	小児歯科

小計 21

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
163	臨床麻酔 35(4) : 693-698 (2011.04)	凝固と炎症のクロストークからみたDIC	中原 真由美	集中治療部
164	鹿児島産科婦人科学会雑誌 18-19合併号: 9-13 (2011)	HIV感染合併妊娠と母子感染予防	古川 良尚	輸血部

計 164

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 熊本 一郎	
管理担当者氏名	各診療部門科長 看護部長 向窪 世知子 総務課長 安武 博隆	薬剤部長 武田 泰生 臨床技術部長 福島 昇 医務課長 上菌 和郎

	保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	総務課 薬剤部 各診療部門科 放射線部 診療情報管理室	(1)電子化後は1患者1記録となりID番号で分類 (2)エックス線フィルムの管理保存 ①CT、MRI、RIのエックス線フィルムについては放射線部で管理し保存している。 ②その他のエックス線フィルムは、各診療部門科で管理し保存している。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医務課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医務課	
	入院患者、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課 薬剤部	
	第規一則 号第 に掲 条の る十 体一 制第 の一 確項 保各 の号 状及 び第 九条 の二 十三 第一 項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医務課
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医務課
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医務課
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医務課	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療環境安全部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医務課	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	医務課
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	医務課
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医務課
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	医務課
	各号及び第九條の二十三	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
	第一項	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	第一号に掲げる体制の確保の状況	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床技術部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床技術部
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床技術部
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床技術部	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 熊本 一朗
閲覧担当者氏名	総務課長 安武 博隆
閲覧の求めに応じる場所	総務課

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0件
閲覧者別	医師	延	0件
	歯科医師	延	0件
	国	延	0件
	地方公共団体	延	0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	86.1%	算定期間	平成23年4月1日～平24年3月31日
算出根拠 A: 紹介患者の数			12,651人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			13,334人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			413人
D: 初診の患者の数			17,311人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 趣旨(2) 安全管理に関する基本的考え方(3) 組織に関する基本的事項(4) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針(5) 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針(6) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針(7) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針(8) 患者等からの相談への対応に関する基本方針(9) その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 医療の安全管理体制の確保に関すること(2) 医療に関する安全管理指針に関すること(3) 医療事故等の防止対策の検討及び推進に関すること(4) 医療の安全管理のための教育及び研修に関すること(5) その他医療の安全管理等に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 1 7 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>第 1 回 「チーム医療とは何ですか？何ができるとよいですか？－エビデンスに基づいたチームトレーニング：チーム STEPPS」 (100分)</p> <p>第 2 回 「輸血と医療安全」 (30分)</p> <p>第 3 回 「薬の処方から投与まで」 (30分)</p> <p>第 4 回 「持参薬支援管理システム」 (30分)</p> <p>第 5 回 「医療機器の取り扱いについて」 (30分)</p> <p>第 6 回 「医療安全シンポジウム（周術期の肺塞栓予防対策）」 (90分)</p> <p>第 7 回 「第 7 回 CT・MRI 検査に関する講習会」 (60分)</p> <p>第 8 回 「新たなハイリスク薬の適正使用」 (30分)</p> <p>第 9 回 「医療安全接遇研修会」 (60分)</p> <p>第 10 回 「東日本大震災、大地震・津波・原子力発電所事故、複合災害時の危機管理の経験」 (60分)</p> <p>第 11 回 「” にくいとやすい ” -インシデントの重要事例に学ぶ-」 「インシデントレポートの目的と課題」 (30分)</p> <p>第 12 回 「クレーム・暴力等対策と予防について」 (60分)</p> <p>第 13 回 「人工呼吸器・生体監視装置について」 (30分)</p> <p>第 14 回 「患者個人情報保護について」 (60分)</p> <p>第 15 回 「1191 コールについて」「医療ガスについて」 (30分)</p> <p>第 16 回 「せん妄について」 (30分)</p> <p>第 17 回 「医療用麻薬の適正使用について」 (30分)</p> <p>※研修会当日に参加できなかった職員のために、録画DVDの上映による研修会を別途実施している。その他に新規採用者・中途採用者向けの研修を実施した。</p>	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療環境の変化に対応するため、「医療安全管理マニュアル」を毎年度改訂 (2) 医療安全管理強化月間（5月，11月）を設定 	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> (2名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> (5名) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任（2）名 兼任（10）名 ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医療安全を確保するための改善方策に関する事 (2) 医療安全に係る教育・研修事業の企画及び運営に関する事 (3) インシデントの分析に関する事 (4) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載状況の確認・指導に関する事 (5) 患者や家族への説明等の対応状況の確認・指導に関する事 (6) 医療安全管理委員会の円滑な運営に関する事 (7) 医療安全に係る連絡調整に関する事 (8) その他医療安全対策の推進に関する事 	
⑧ 病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 趣旨(2) 院内感染対策の基本指針(3) 組織体制(4) 職員の教育及び研修(5) 報告に関する基本方針(6) 対応に関する基本方針(7) その他(8) 閲覧	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>院内感染制御と患者の安全確保を主な目的として、院内における感染症発生状況を把握し、感染対策に関する事項（原因分析や改善策等）の審議、諸施策の策定を行う。</p>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 1 1 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">第 1 回 「もう一度考えてみよう。MRSA!」(30分)第 2 回 「結核菌と結核患者への対応と対策～古くて新しい感染症から身を守るために～」(30分)第 3 回 「医療従事者におけるHIVの曝露対策（針刺し）」(30分)第 4 回 「アウトブレイクを防ぐために～細菌検査からみえること～」(30分)第 5 回 「HIV感染症の疫学と検査について～どのような時にHIV感染を考え、どのような検査をするか～」(30分)第 6 回 「クロストリジウム・ディフィシル関連下痢症」(30分)第 7 回 「院内感染対策の新しい流れ」(60分)第 8 回 「適切な手指衛生で感染症を減らそう」(30分)第 9 回 「冬期に流行する感染症～ノロウイルス・インフルエンザ～」(30分)第 10 回 「手術部位感染(SSI)の現状と対策」(30分)第 11 回 「東日本大震災における感染対策～大学病院における危機管理～」(60分) <p>※研修会当日に参加できなかった職員のために、録画DVDの上映による研修会を別途、実施している。</p> <p>※上記研修会の他、新規採用者・中途採用者に対する針刺し切創事故対策・廃棄物処理に関する研修、初期研修医に対する標準予防策・手指衛生に関する研修、清掃・院内搬送等の委託業務従事職員に対する標準予防策、針刺し事故時の対応、環境整備等の内容に関して研修を実施した。</p>	

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

- ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有 無)

- (1) 院内感染発生時に部署からICTに報告
- (2) 注意すべき病原体の検出時に検査部からICTに報告
- (3) 週1回検査部から病棟別主要注意菌検出状況をまとめた感染情報レポートをICTに提出
- (4) ICTスタッフ会議、感染症対策委員会において報告
- (5) リスクマネージャー連絡会議を通じて院内に周知
(感染管理ニュースや全職員宛メールも活用)

- ・ その他の改善のための方策の主な内容：

- (1) 院内感染発生状況の調査・とりまとめ・分析
- (2) 感染防止対策や感染症診療についての助言・指導
- (3) 感染対策マニュアルの整備及びICTラウンドによるマニュアル遵守状況の確認
- (4) 院内感染発生時における二次感染防止対策の策定・実施
- (5) 抗菌薬届出制の拡充および抗菌薬適正使用活動の推進
- (6) 職員の4種ウイルス感染症抗体価確認及びワクチン接種の徹底、特定部署の職員を対象とした定期的クオンティフェロン検査の実施等による職業感染予防対策の強化
- (7) 内視鏡洗浄一元化の推進
- (8) 職員からの伝播予防を目的としたインフルエンザ症状を有する職員に対するインフルエンザ迅速診断の開始
- (9) スタッフステーション内水道の自動栓への変更、外来への採痰ブース導入等による環境整備の推進

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 6 回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) 新任者対象：薬剤部の業務紹介と医薬品安全管理について、实例をもとに講義<4/5>(2) 研修医対象：処方せんの書き方と入力・運用について（処方せんの定義から処方に関する問題点や医薬品安全管理についての講義<4/8>(3) 新任看護師対象：安全の知識：薬剤・注射の基礎インシデント防止（処方薬や注射薬の基礎知識を学び、インシデント発生を低減するための方策を考える）<9/22>(4) 全職員対象：薬の処方から投与まで（内服処方せんの書き方、指示内容等）<5/27>(5) 病棟関係職員対象：持参薬支援管理システム その運用法について<6/7>(6) 全職員対象：新たなハイリスク薬の適正使用<9/27, 10/5>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (有 無)業務の主な内容：10月より病棟薬剤業務の試行を始めるに当たり、また、平成23年度立入検査時に指摘された点を含めて全面改訂を行うため、現在作業中である。<ul style="list-style-type: none">(1) 医薬品の採用について(2) 医薬品の購入について(3) 調剤室における医薬品の管理について(4) 病棟における医薬品の管理について…病棟薬剤業務に合わせて改訂準備中(5) 外来患者への医薬品使用について(6) 入院患者への医薬品使用について…病棟薬剤業務に合わせて、処方せんの取扱い、処方せん修正、持参薬の取扱いなどについて改訂準備中	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)その他の改善のための方策の主な内容：<ul style="list-style-type: none">(1) (医療安全や医薬品適正使用の面も含めて) 病棟薬剤業務加算算定を目指して病棟活動内容の見直し、全病棟を対象とした人員の再配置により、病棟での医薬品の適正使用に寄与できるような体制作りを進めている(2) これまで抗がん剤の調製の休日対応は、事前のレジメン内容と投与スケジュールの確認だけであったが、平成24年6月より段階的に調製も開始し、8月から全面的に実施した。(3) 医薬品情報提供に関わる媒体として病院情報端末と学内LANを利用してきたが、より迅速に、より有効活用できるように病院情報端末に集約し、内容・項目を一新するとともに、過去分も含めて検索機能を追加した。	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 2 回
・研修の主な内容： 医療機器の適切な取扱い，取扱い時の注意点，日常の点検方法について研修を実施している。平成24年8月21日に院内医療従事者を対象に人工呼吸器と除細動器について研修会を開催した。内容は，人工呼吸器を安全に使用するために必要な人工呼吸器のモードと注意すべきアラームについて説明等を行った。また，除細動器については，安全な使用に必要な基礎知識と同期式除細動についての注意点等の説明を行った。 平成25年1月に院内医療従事者向けに研修会を計画している。また，部署により，使用する機器や使用状況が異なるため，現場での研修を随時行っている。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・計画の策定 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) ・保守点検の主な内容： 年度初めに策定した計画に沿って保守点検を行っている。機器により保守点検内容は異なるため，機種毎に作成した保守点検簿に従って実施している。 また，医療機器管理ソフトを使って管理状況の確認を行っている。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) ・その他の改善のための方策の主な内容： 医療機器に係る情報の収集を独立行政法人医薬品医療機器総合機構，臨床工学技士会，m3.comなどから行い，必要な情報について病院のネットワークから閲覧できる機器管理ソフトに登録して公開している。そのシステムにより，院内のどこからでも電子カルテ上から閲覧が可能となっている。 また，医療機器メーカー等が独自に通知する注意喚起についても情報を収集し，院内通知を行っている。	